

過ごし易くなったかなと思つたらどんどん寒くなりました。朝晩の冷え込みに注意して風邪を引かないようにしましょう。風邪の予防は「うがい、手洗い、栄養、休養」です。

さて去る十月十日から十九日まで当病院グループの研修医を連れてアメリカ東海岸の病院研修に行つてきました。総勢十五名の大所帯でした。うち六名が看護師でした。研修医も二年目ともなると皆個性豊かになってきます。三年目に向けそろそろ将来の専攻科を考える時期です。出発する二日前にニューヨーク地下鉄のテロ予告があるなど中々緊張感の高い中でのスタートでした。

今回はテレビや雑誌でもすっかり有名な神の手といわれる脳神経外科医の福島孝徳教授のおられるマサチューセッツ州デューク大学とウエストバージニア州ウエストバージニア大学の病院を見学してきました。福島孝徳先生には大変ご多忙の中、大学内をご案内頂き、また、福島先生の研究所でスタッフとして働いておられる四人の日本から留学された先生方にも大変お世話になりました。日本の商品はほとんどの国で手に入るものと思つていましたが、日本人の少ないマサチューセッツ州、ウエストバージニア州では焼酎などおじさんの必需品が手に入らず、またテロ以来輸送も難しくなつて大変苦労しているという事でした。今度行く時にはみなさん手荷物でたくさん持つていつてあげましょう。(福島先生には要りません)クリーブランドクリニックでもそうですが、アメリカ人の気性なのでしょうが、とにかくのんびりやつてるなという印象です。その中で福島先生だけが超多忙で、やはり日本人だなという感じでした。私もそうでしたが、若いうちに海外を経験していると将来の視野の広さが広がるものと思います。研修医諸君の将来に期待しましょう。

全体を通してみるとほとんどの参加者がアメリカ初体験であつたことを考えると近くの西海岸での研修で良かったかもしれません。帰りはピッツバーグからでしたが、ホテルを出て自宅に着くまでに二十六時間もかかりましたから。テロ対策の警備の厳しさのためこれまでより一時間は早く空港に行かねばならないからです。みな当分飛行機に乗りたくないでしょう???

いよいよ十一月です。一気に冷えてきます。夜長に人恋しくなる季節です。こおろぎさんも出てくるかな。

